



Directed by Takeshi Kitano

菊次郎の夏

KIKUJIRO

菊次郎52才正男9才
たくさん遊んで、すこし泣いて。



北野武監督作品

脚本:北野武 音楽監督:久石譲

ビートたけし 関口雄介 岸本加世子 吉行和子 磨赤兒 細川ふみえ グレート義太夫 井手らつきよ ザ・コンボイ

製作:バンダイビジュアル・TOKYO FM・日本ヘラルド映画/ オフィス北野 配給:日本ヘラルド映画・オフィス北野 プロデューサー:森島行・吉田多喜男

ラインプロデューサー:小宮慎二 協力プロデューサー:坂上直行・古川一博・川城和典 撮影:柳島克己(J.S.C.) 照明:高屋敷 美術:瀬田典宏 録音:堀内戦治

編集:北野武・太田義則 記録:中田秀子 助監督:清水浩 キャスティング:吉川威史 製作担当:山本章 サウンド・トラック:ポルトール DOB EDITION [URL] <http://www.office-kitano.co.jp>

変化し続ける監督 北野武が 挑む新たな世界、 それは笑いと感動の物語

一作ごとに新境地を切り開き、「HANA-BI」で
ヴェネチア映画祭グランプリに輝いた世界の北野武。
彼の新たな挑戦は、母親探しの旅がモチーフの
優しさ溢れる映像ファンタジーとなった!!!

夏休みが始まった。しかし正男には勉強を見てくれたり、海に連れて行ってくれる人はいない。お父さんは交通事故でなくなり、お母さんはどこか遠くで働いている。一緒に住むおばあちゃん(吉行和子)はパートで忙しい。そこで、正男(関口雄介)は写真でしか見たことのない母親の元へ、絵日記と僅かな小遣いを握りしめて飛び出した。心配した近所のおばさん(岸本加世子)は、仕事もなく暇を持て余す旦那・菊次郎(ビートたけし)に母親の元まで送り届けるよう命令するが…。

勝手気ままに生きてきた52歳の菊次郎。そして母親に会いたい一心の9歳の少年正男。

「おじちゃん」…「なんだよ小僧」一互いに名前も知らない年の離れたふたりの「少年」たちの浅草から豊橋までの往復600キロの旅。その途中で出会う様々な人々や事件が、時には現実の厳しさを、時には人々の優しさを教え、次第に二人の距離を近づけていく。

母親は男の子が生涯かけて慕うものであり、父親は男の子を生涯かけて見守るものである。母に会えない正男を慰めようと、菊次郎は道中出会った作家志望のあんちゃんや、地元のハーレー野郎たちと一緒に正男に遊びの手ほどきをする。縁日では屋台めくりの醍醐味を、畑ではトウモロコシ泥棒のスリルを、河原では「だるまさんが転んだ」や「すいか割り」の楽しさを、まるで自分が楽しめなかった遠い夏休みの思い出を取り返すかのように正男に教えていく。

美しい日本の原風景ともいえる自然の中で大人も子供も時を忘れて遊ぶ。真夏の萌える緑の中に響く彼らの笑い声は、わたしたちに忘れてかけていた夏の優しさを思い出させてくれるのである。

前作同様北野武は、監督・脚本・編集・主演をこなす。彼の挑戦に応えて、撮影の柳島克己と照明の高屋齋のコンビは、「キタノブルー」に変わる「萌えるグリーン」を作り上げ、久石譲は透明な旋律で感動を謳いあげる。

夏の絵日記を飾る登場人物たちも北野武ならではのこだわりだ。主人公の菊次郎には、ビートたけし。ぶっさらばうな優しさと温かさを醸し出す。正男役には現在9歳の元気な小学生・関口雄介、菊次郎の妻で下町の人情味溢れるおばさんに岸本加世子、おばあちゃんには吉行和子、ほかにグレート義太夫、井手らっきょ、細川ふみえ、ザ・コンボイのメンバーらがスクリーン狭しと活躍する。

北野武監督最新作

菊次郎の夏

1999年/日本映画/ヴィスタサイズ/ドルビーSR/上映時間:2時間1分
オフィス北野ホームページ [URL] <http://www.office-kitano.co.jp>
北野チャンネルホームページ [URL] <http://www.kitano-channel.co.jp>



6月《感動》のロードショー!

前売鑑賞券絶賛発売中!
一般券1,600円/ペア券(お二人で)3,000円

有楽町マリオン9F 丸の内ピカデリー2 03(3201)2881	新宿東口・紀伊國屋ビル上 新宿ピカデリー2 03(3352)4043	歌舞伎町・コマ劇場前広場 新宿ジョイネマ2 03(3209)6180	渋谷公園通り・ヒューマックスバリー4F 渋谷ジョイネマ 03(3462)2539	池袋駅西口・ロサ会館 池袋シネマロサ 03(3986)3713	JR上野駅1のぼすロ・上野松竹B1F 上野セントラル2 03(3832)0057	伊勢佐木町2丁目交差点 横浜セントラル 045(261)2790
--	--	--	--	---------------------------------------	--	--